

表1 目標：減量化率及びリサイクル率

(単位:t・%)

	現在	計画目標年次	
	平成17年度	平成25年度	
排出量	4,415	3,752	△ 15.0
リサイクル率	5.4	15.0	
最終処分量	1,389	918	△ 33.9

もったいない町民運動の実践報告……G30%の減量・リサイクル(分別)の推進

今年の日標は「一人・1日当たり110gの減量」の実践

ごみ減量化推進運動の成果が出てきました。

もったいない町民運動で進めている「ごみの30%減量」と「リサイクルの推進」。

この目標達成のために、町民一人ひとりにご理解とご協力をいただいております。

そして、町民が一人ひとりの頑張りにより、ごみ減量化推進運動が着実に成果を上げています。

平成25年度までの目標としている数値の中で、排出量と最終処分量はクリアしました。

でも、残念ながらもう一つの目標「リサイクル率15%」には届きませんでした。

このことから平成21年度は、「一人・1日当たり110g」の減量を実践目標にしました。

今年度も、「もったいない町民運動」にご協力宜しくお願いします。

もったいない町民運動と連携し ごみの減量・リサイクルの推進

町では、ごみの減量化及びリサイクル率のアップを目指しています。

表1をご覧ください。

表1では町の減量目標を示していますが、この目標は新最終処分場建設にあたり国より求められている数値です。

目標年度としている新最終処分場稼働予定の平成25年度までには、町全体のごみの排出量を平成17年度の4,415トンを15・0%減量し、3,752トンに、リサイクル率は平成17年度

の5・4%を15・0%までにアップ、最終処分量は平成17年度の1,389トンを918トン減量し91・8%にすることを目標にしています。

この目標を達成するために町では、平成20年度に町指定ごみ袋の改定、リサイクル品目の統一、中里地域にはこれまでなかったストックヤードを6か所設置するなど環境整備を行うとともに、子供会、町内会などのボランティアによる集団回収事業も行いました。

また、町が主催する「もったいない町民運動」とも連携し、会議等において町民に協力をお

願いしてきました。

それでは、町民一人ひとりのご理解とご協力を得ながら、ごみの減量化とリサイクル化に努めてきた中泊町の1年間の成果を、平成17年度と比較しながらご報告します。

全体ごみ量(対17年度比) 21・7%の減量率

グラフ1をご覧ください。

平成17年度からの「一般家庭ごみ量の推移」を示しています。全体のごみ量の推移を見ると、右肩下がりのグラフになっています。

これは、全体のごみの量が年々、減少していることを表しており、平成17年度との比較では21・7%(957トン)の減となりました。

燃やせないごみは、533・8%(563トン)の減となりましたが、このことは、平成25年度を目標としている最終処分量918トンを大きくクリアしたことになります。

西部クリーンセンターへ搬入される燃やせるごみも、18・9%(592トン)の減となりました。



リサイクルごみ(対17年度比)
83.6%の増量率

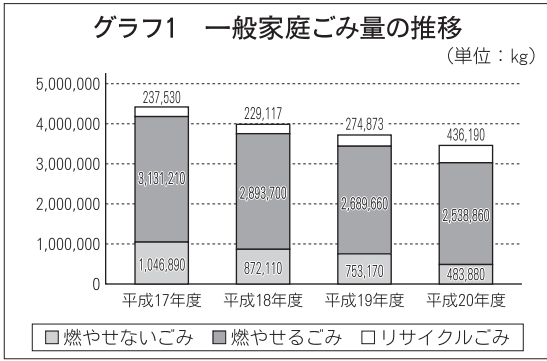
グラフ2をご覧ください。

平成17年度からの「リサイクルごみ量とリサイクル率の推移」を示しています。

リサイクルごみの推移を見ると、右肩上がりのグラフになっています。

これは、リサイクルごみの量が年々、増加していることを表しており、平成17年度との比較では83.6%(199トン)の増となり、リサイクル率も12.61%と初めて10%を超えることができました。

このことは、汗を流してくれた子供会、町内会などの様々な



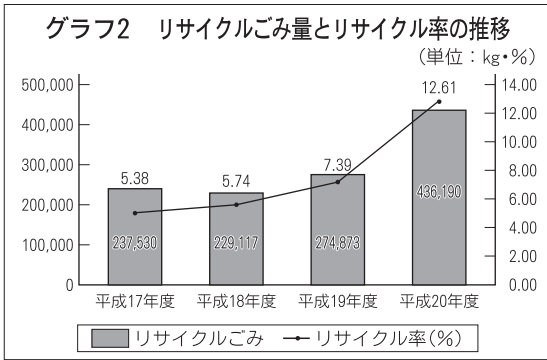
ボランティア団体そして、町民一人ひとりのリサイクル意識の高まりを思います。

リサイクルごみ収集別比率
ストックヤード **34.2%**
集団回収 **10.5%**

グラフ3をご覧ください。

平成20年度の「リサイクルごみ収集別」を示しています。

町のリサイクルごみの収集方法は、専門業者(中里地域は缶びん、ペットボトルのみの収集)への収集委託と町内7か所に整備したストックヤード(中里地域は缶びん、ペットボトルを除く)と地域の子供会や町内会などの組織による集団回収体制です。

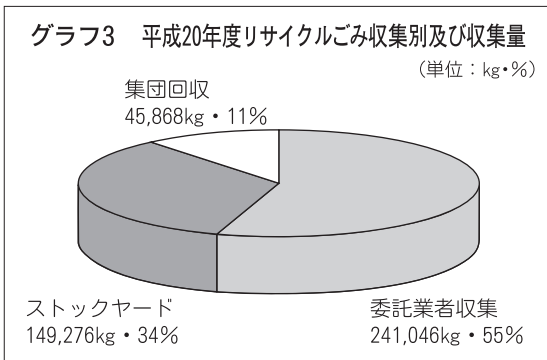


平成20年度のリサイクルごみの全体収集量は436,190トンでした。

これを収集方法別で示すと、委託では244,1046トンで全体の55.3%、ストックヤードでは149,276トンで全体の34.2%、集団回収では45,868トンの10.5%でした。

ストックヤードと集団回収による収集比率が5割近いことから、今後は計画的にストックヤードの整備を進めるとともに、町民の有志で組織する集団回収団体を育成することが重要になります。

このことから今年度、町ではストックヤードを中里地域に



2か所、小泊地域に1カ所整備する予定です。
なお、通年で集団回収団体を募集していますので、興味のある方は環境衛生課「内線38・60」までお問い合わせください。連絡待っています。



中里地区のストックヤード(静和園裏)

ストックヤード・リサイクルごみ町に59万5千円の収入

ストックヤードで収集している「紙類」(新聞・チラシ・段ボール・雑誌・紙パック)は、町のリサイクル率に貢献しているばかりではなく、町の収入にも大いに貢献していることもお知らせしておきます。

平成20年度の町に入ったお金は595,181円でした。心から、感謝申し上げます。

「缶・びん・ペットボトル・発泡スチロール・白色トレイ・その他のプラスチック・紙パック」は、必ず、きれいに洗浄し、乾燥させてから出すようお願いいたします。

きれいでなければリサイクルできません。古紙以外は水洗い・乾燥が基本です。

新聞紙、雑誌類、段ボールの古紙は、その種類ごとに分け、十文字にひもでしばって出しましょう。可能であれば、結びひもは、リサイクルできる「紙ひも」をご利用されるようお願いいたします。

【文責・環境衛生課 成田】

「缶・びん・ペットボトル・発泡スチロール・白色トレイ・その他のプラスチック・紙パック」は、必ず、きれいに洗浄し、乾燥させてから出すようお願いいたします。せつかくリサイクルにと思って出していただけでも、中が汚れているもの、臭いがするもの、白色トレイなどのヌルヌルしているものは、リサイクルごみとして扱われません。